

## 令和4年度 第2回天王寺区教育会議（会議要旨）

日 時：令和5年3月8日（水）19時30分～20時30分

場 所：天王寺区役所 講堂

出席者：〔学校協議会〕

戒委員（天王寺中）、大宗委員（五条小）、永井委員（味原小）

〔区政会議子育て・教育班〕

石野委員、植田委員、大野委員、岡崎委員、児玉委員、飛田委員、平田委員

〔学校〕樋口校長（大江小）、神田校長（夕陽丘中）

〔区役所〕加藤区担当教育次長、高野区教育担当部長、渡邊区教育担当課長、

寺戸区教育担当課長、近藤区教育担当課長代理、森本区教育担当課長代理

傍聴者・報道関係者：なし

○今年度の教育に関する取組について、渡邊課長より説明

○委員意見及び回答

【校長経営戦略支援予算—中学生職業体験について】

- ・コロナ禍で職業体験ができない状態が続いているが、再開見込みはどうか。
  - ・地域でも受入れ先を増やすよう協力してきたが、コロナ禍による中断があると再受入は難しいのでは。
- 再開見込みは不明。以前は高齢者施設や保育園なども行っていたが、代わりに職業講話を実施。

【校長経営戦略支援予算—外部指導者報酬について】

- ・よい取組み。報酬は市規定に依るものか。
- 指導者は複数いる。Shion はじめ楽団で演奏する一線の奏者だが、報酬単価は市規定に依る。顧問教諭の縁等を活かして来ていただいている。

【こどもサポートネットについて】

- ・SSW（スクールソーシャルワーカー）（以下、SSW という。）増員とあるが、予算は増えておらず、減となっている。
- やや減となっているのは予算の組み換えによるもので、人件費は2名分計上
- ・事業の成果や活動が見えてこない。可能な範囲で広めては。
- 民生委員児童委員協議会などの場で、可能な範囲で成果を広めることも検討したい。
- ・どの地域もマンションの増加に伴い児童生徒が増加している。こサポの態勢は大丈夫？
- 子どもが毎日通う学校現場でまずは教員が発見するもの。子どもが増えれば教員も増える。区もSSWを増員しており、万全の態勢で支援したい。
- ・地域と連携とあるが、推進員やSSWの顔も知らず連携と言われてもできない。
- 地域に委ねる案件がたまたまなかったことが原因。必要な際にはお願いする。可能な範囲で事例紹介するなどは検討したい。
- ・ヤングケアラーは増えているのか。
- 市全体では7.9%。区のデータはないが、次年度からこどもサポートネットにてヤングケアラー支援をさらに強化する予定。
- ・ひとり親家庭を支援している「母と子の共励会」では、お寺から定期的にお菓子の寄付を頂

いているが、このお菓子を会員あてに区民センター等において配布しており、来場する子どもに近況を聞きながら、見守りを行っている。

しかしながら、中には、支援を受けることを望まない保護者もいる。

このような家庭への支援はどうしたらよいか。

→こどもサポートネット事業の支援にて、次年度からはヤングケアラー世帯を強化して行くので、ヤングケアラーと思われた場合は、区へ連携して頂きたい。

・不登校対策は？

→自宅への家庭訪問など個別対応を行っている。

#### 【スクールカウンセラー事業について】

・そもそも目標数値が適正なのかが分からないが、当該数値の達成は可能か。

→当然100%の解決が望ましいが、事業としては経年で取組みすることもあり、そういった状況も踏まえて単年度の目標を設定したものである。

→相談件数は増えることは良いことと考えるが、分母が増えた分、解決に至っていない案件も増えることになるのだろう。

#### 【学校図書館について】

・学校図書館の活用について、児童生徒は図書館を利用しているのか。

→良く本を読む。学校司書の工夫で各季節にあった図書を選び、図書館や各教室の本棚を定期的に入れ替えているなどの取組みにより、読書を推進しているのだと感じている。

#### 【小学生国際理解教室について】

・中国に限らず、他の国について取り上げたり、英語を公用語とする国を取り上げて英会話を取り入れたりするなど、まんべんなく取り組む方がよい。

→学校からの依頼でテーマは決まるが、そのような視点は必要と考えている。今後学校に提案する際に参考にする。

・事業予算は減っている。

→今年度はコロナ感染の拡大抑止の観点から、当初想定したほどの活用はなかった。来年度は今年度以上の活用を見込むが、予算の中でも十分に講師派遣をして頂くことは可能と考えている。

→学校としても、次年度はコロナの基準が緩和されることや、外国籍の児童が増えている現状もあることから、次年度は開催する学校も増えると考えている。

#### 【ジュニアクラブについて】

・予算減の理由について教えてほしい。

→今年はチラシのリニューアルを行ったのでたくさん刷ったが、来年度はやや落ち着くため予算減となっている。活動に必要な講師謝礼等はきちんと確保している。